

大野記念病院 広報誌

OHNO *Fan*

April 2023

Vol.

2



OHNO *Fan*

April 2023

社会医療法人 寿楽会 大野記念病院 広報誌
OHNO Fan 第2号(2023年4月15日発行)

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-26-10
お問い合わせ 大野記念病院 企画広報課

TEL:06-65531-1815 FAX:06-65536-6390



この先も、 かわらぬ思いを皆さまへ



内視鏡検査を目指して

苦痛のない

丁寧でわかりやすい

ご説明を提供できるように

寄り添う医療の提供を

患者さん一人ひとりに

軽快なフットワークで

患者さんのもとへ

大野記念病院の一員として、患者さんに最善の医療を提供できるように誠心誠意努めてまいります。どうぞ、これからよろしく願いたします。

医学博士／日本内科学会総合内科専門医
／日本消化器病学会消化器病専門医／日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医

坂井 大志

消化器内科 副部長

患者さんが困っていることを聞き取って、適切に対応できるように尽力いたします。どうぞよろしく願いたします。

井代 愛

日本整形外科学会専門医／日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医

整形外科 医長

患者さん一人ひとりに寄り添った医療を提供できるよう、日々精進していきます。困ったことがありましたら、何にでも気軽にご相談いただければ幸いです。どうぞよろしく願いたします。

柳田 遥

内科 医員

福田 帝

外科 医員

大野記念病院の外科医のひとりとして、病を治し、心(気)を癒やす、患者さんに寄り添った医療を提供できるように努めます。

河崎 梨沙

研修医

4月より初期研修医としてお世話になります。大野記念病院の一員として、地域の医療に貢献できるよう精一杯励んでまいりますので、どうぞよろしく願いたします。

やりたくない理由よりも、 やらないといけない理由が 確実にある。

内視鏡検査は、やりたくない検査の一つとしてよくあげられます。
患者さんの苦痛の上に成り立っている検査という事を常に忘れずに、
私たち消化器内科医がやるべきことはただ一つ、
それは技術をひたすら磨くこと。
やりたくない理由を一つでも減らし、
安心して検査を受けていただけるように
「昨日の自分に勝つ」ことを目標に研鑽を重ねています。



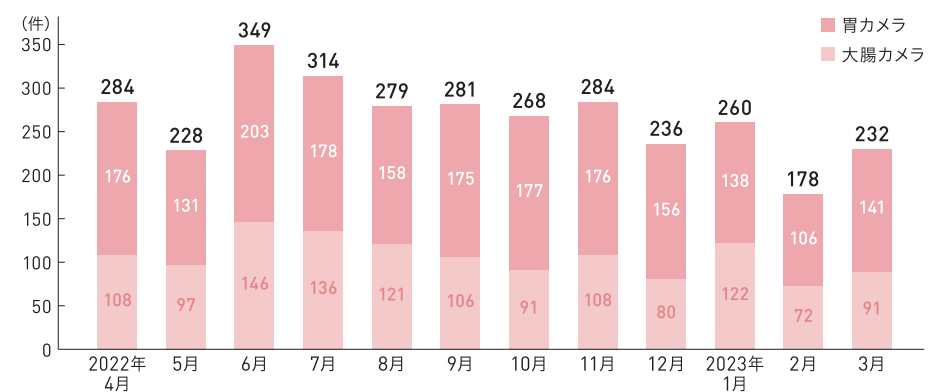
苦痛を和らげるのに欠かせない看護技術 -タッチング-

看護師が医療行為とは別に患者さんの手を握ったり背中を優しくさすったりする行為を看護用語で「タッチング」と言います。
患者さんへ安心を与えるための非言語的コミュニケーションの一つで、内視鏡検査を行う際にも、とても重要な技術です。

※実際の検査では、エプロン・ゴーグルを装着しております。

言葉よりも、確かな実績を

内視鏡検査件数



胃カメラ
上部内視鏡検査
▶ 合計**1,915**件

大腸カメラ
下部内視鏡検査
▶ 合計**1,278**件

全体合計**3,193**件

当院の消化器内科は、年間3,193件の内視鏡検査を行っています。
丁寧な検査、迅速な対応、寄り添う診療をモットーに、日々実績を積んでいます。

【消化器内科】

最大のメリット

「早期発見・早期治療」

内視鏡検査の最大のメリットといえば、侵襲(生体を傷つけること)なく、「早期発見・早期治療」が行えることです。当院では、患者さんのやりたくない理由が一つでもなくなり、抵抗なく安心して検査を受けていただけるようにご希望があれば、意識下鎮静法※にて検査が行えます。大腸カメラでは9割以上の方がこの意識下鎮静にて検査を行っている為、眠っている間に検査は終了します。胃カメラでも希望があれば行えますので、不安や苦痛を軽減する方法を患者さん自ら選択していただけます。

※意識下鎮静法とは、鎮静剤を少量静脈注射する事で、ぼんやりしながらも必要な受け答えはでき、意識を完全に失わせる麻酔ではありません。それでも、ほとんどの人が、いつ検査が始まったのか分からない間に終わっていたと言われます。一度、意識下鎮静法を試していただければ、「こんなに検査は楽なものだったのか」と実感していただけたと思います。

【消化器内視鏡センター】

内視鏡検査は

「チーム医療としてのみ存在しうる」

チーム医療が推進されている昨今、医師以外のスタッフにも専門的な知識や、高い安全管理能力が求められるようになっていきます。内視鏡診療の基盤となる優秀な消化器内視鏡技師が十分に在籍しているかどうかで、その内視鏡センターのチーム力が大きく変わると言われています。当院には消化器内視鏡技師が在籍しており、万全の体制で検査のサポートを行います。また、当院は日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会関連施設、日本消化器外科学会専門医修練施設の認定を受けています。

“同心協力”を大切に

Mr. Hayakawa

広島出身で広島カープの大ファンで、休日は子どもとテレビで野球観戦をしています。また学生時代は水泳部で泳ぐことが大好きで、今も医師に必要な体力作りの一環として泳ぎに行ったりもしています。何かお困りの事があれば、悩まずにすぐにご相談ください！

Mr. Sakai

内視鏡検査や治療、消化管疾患の診療を行っています。学生時代はラグビー部に所属しておりました。みなさん、今年のラグビーW杯と一緒に応援しましょう！

副院長／
消化器内科部長

早川 剛

医学博士／日本内科学会総合内科専門医／日本内科学会認定内科医／日本消化器病学会消化器病専門医／日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡指導医・専門医／日本消化管学会胃腸科指導医・専門医

消化器内科 副部長

坂井 大志

医学博士／日本内科学会総合内科専門医／日本消化器病学会消化器病専門医／日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医

消化器内視鏡センター
医員

山田 佳那

内科専門医

① 胃カメラ

予約以外でも受付可能

症状があり、絶食で**午前11時まで**にご来院いただければ、当日に胃カメラが受けられ、検査結果を聞くことができます(病理検査※をした場合、結果は後日お伝えします。)ただし、検査を行うかは、患者さんの状態・症状を伺った上、医師が判断します。患者さんの状態によっては、検査できない場合もありますので予めご理解ください。

② 大腸カメラ

事前受診が必要

検査前日に服用いただくお薬の処方、飲まれてるお薬の確認などがある為、事前受診が必要です。症状があり、大腸カメラを希望される場合は、一度消化器内科の受診をお願いします。

③ 同日検査

胃カメラ・大腸カメラの 同日受診が可能

一日で検査を受けられるため、お身体の負担を極力減らすことができ、またご予約も組みやすいことがメリットです。

④ がん検診

大阪市 胃がん検診・ 大腸がん検診も受診可能

胃がん検診は、事前予約が必要です。大腸がん検診は、市から届いた案内状を直接1階総合受付にお持ちください。

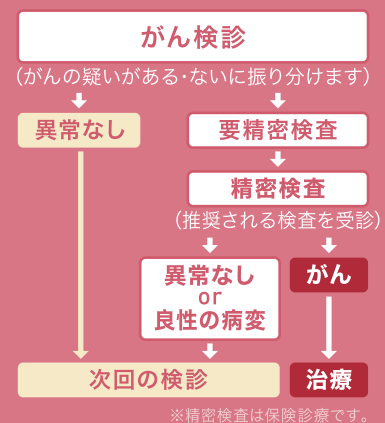
⑤ 胃瘻造設

胃瘻トラブルにも 迅速に対応

胃瘻造設、胃瘻交換が必要な場合や、トラブルが起こった際は、ご紹介いただければ迅速に対応します。

大野記念病院は 大阪市がん検診精密検査協力医療機関です。

大阪市がん検診を受けられて要精密検査判定になった場合は、必ずがん検診精密検査協力医療機関で精密検査を受けましょう！
「“がん”だったらどうしよう…」という不安があって、なかなか精密検査をされない方がいらっしゃいますが、早期発見をすることは根治することや治療の幅を広げることに繋がります。また、がんではなく別の病気の可能性もあります。
異常の原因を突き止め、早期に治療を始めることで治る可能性が高まります。
病気でなかったとしても生活習慣を見直すきっかけになり、その結果病気の予防につながったりとメリットが多くあります。



がん検診により、推奨される精密検査が異なります。

私たちが責任を持って精査を行います。また治療や手術が必要と判断された場合にも、当院で継続して診療を行えますので安心して受診をしてください。

消化器内科

胃がんは現在でも日本人の罹患率は高いがんで、無症状なことも多いですが、**早期に発見し治療すればほぼ治ります**。大腸がんは近年増加傾向のがんの一つです。**早期に発見し適切な治療を受けると、ほぼ完治が望めます**。無症状の時に大腸がん検診を受け、**早期に大腸がんを発見することがとても大切です**。要精密検査になった場合は躊躇わずご相談ください。



副院長／消化器内科部長
早川 剛

精密検査で行う主な検査

胃がん・胃内視鏡検査・組織検査
大腸がん・大腸内視鏡検査

※便潜血検査を再度行うことは精密検査ではありません。

泌尿器科

前立腺がんは、前立腺の細胞が正常な細胞増殖機能を失い、無秩序に自己増殖することにより発生し、比較的ゆっくり進行していきます。**早期の前立腺がんは、多くの場合自覚症状がありません**。PSA値の推移をしっかりと確認していき、**異常があればすぐに精密検査を受けることがとても大切です**。早期に発見すれば完治することも可能です。



泌尿器科部長
杉田 省三

前立腺がん
・超音波検査・MRI・生検など

乳腺・内分泌外科

乳がんは日本人女性の9人に1人がかかる身近な病気です。一方で**早期発見によって90%以上の方が治る病気**です。そのため**セルフチェックや検診を受けることは非常に大切です**。検診で精密検査と言われても、全ての人が乳がんというわけではありません。良性のしこりや石灰化がある方は引かかる可能性が高くなります。怖がらずに検診や精査を受けましょう。

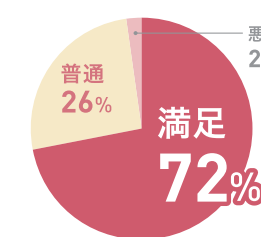


乳腺・内分泌外科 部長
野田 諭

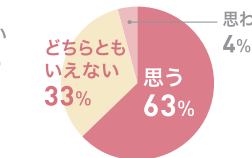
乳がん・マンモグラフィ撮影・
超音波検査・組織検査など

“72”は 何の数字？

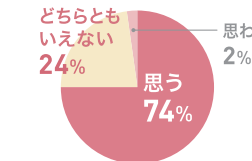
当院について**総合的に**
どう思われましたか？



当院を**家族や知人へ**
勧めたいと思いますか？



当院を**また利用したいと**
思いますか？



患者満足度調査で 総合的に「満足」と 回答された方の割合です！

当院はご利用される皆さまが感じている「小さな問題・要望」から、不快な思いをした「大きな問題・要望」を、“生の声”として大事にしています。年2回の患者満足度調査の実施と、2階エスカレータ付近・各病棟談話室に【ふれあい箱】を設置し、“生の声”を日々募っています。ぜひ患者満足度調査や、ふれあい箱の投函にご協力をよろしくお願いします。

2階エスカレータ付近 各病棟談話室に 設置中！



2月27日～3月11日の期間に、外来・入院・退院された患者さんにアンケートを実施。計1,375件(外来:1130件/入院:95件/退院:150件)ものご意見をいただくことができました。

＜自由記載に寄せられた、たくさんのご意見のご紹介＞

先生がとても患者へ親身になってくださるので、信頼ができて安心します。



救急搬送受け入れに始まり、急なことへの対応に職員の皆さんの丁寧、親切な心遣いに感謝します。



何の治療、何の診察ならこれくらいの時間を要するのか、また診療科目の得意なことを発信してくれたら有難い。



会計の待ち時間が長いのを解消してほしい。診察予約をアプリ化、また本日の診察状況をアプリで見えるようにしてほしい。



患者満足度調査にご協力いただきありがとうございました！

お褒めのお言葉、ご指摘のお言葉の全てを真摯に受けとめ、各部署共有し、少しでも多くの皆さまにご満足いただける病院運営を目指し、業務改善に努めております。



まずはお気軽にご相談を！

がん検診の
ご予約は
コチラ

要精密検査判定の通知が来た方は、当院の受診が初めての方でもお電話にてご予約を付けております。

患者総合支援センター **06-6531-0819**

乳腺・内分泌外科はご予約外でも受付時間に
来ていただければ診察が可能です。

乳腺・内分泌外科 **受付時間 8:30-11:30**

※診察日についてはホームページもしくはお問い合わせの上ご確認ください。



大野記念病院の各診療科・部署が健康にまつわる役に立つ情報をお届けします。

Column

薬剤部

栄養科

リハビリテーション部

1.

薬剤部 からのお知らせ

目薬を

使用する際に

気をつけたいこと

普段、何気なく使用している目薬ですが、いくつか気をつけたいポイントがあります。

- 1.目薬は直射日光を避けて、なるべく涼しくて清潔な場所に保管しましょう。
冷所保存や遮光保存(光を避ける)の指示がある場合は守ってください。
- 2.目薬本体に記載されている使用期限は未開封の場合の使用期限です。
開封後は、医療用目薬では1か月、市販の目薬では3か月が使用期限の目安とされています。
- 3.目薬の汚染を防ぐため、目薬の先端がまつげやまぶたなどに触れないように注意してください。
- 4.目薬は1滴をきちんと点眼することができれば十分です。点眼後はまばたきをせずまぶたを閉じ、目から溢れた目薬はティッシュなどでふき取ってください。
薬によっては目の周りの皮膚があれったり、黒くなることがあります。
目薬を上手にさせない場合や目薬に対して疑問があれば薬剤師にご相談ください。



2.

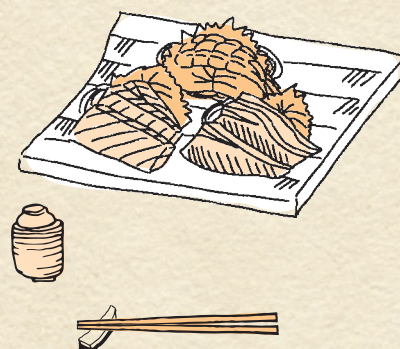
栄養科 からのお知らせ

「マアジ」で

脳の活性化&

血液サラサラに!

マアジはアジ科の中でマアジ属をなす一種で、一般的には「アジ」と呼ばれる魚です。魚は産卵前が最も美味しくなると言われています。アジの産卵期は地域によって様々で、西日本では年明けから初夏にかけて多く、関東沿岸では初夏から夏にかけて、北海道では8月頃とされています。マアジにはタンパク質、脂肪、ビタミンB群、カルシウムやミネラルなどすべての栄養素をバランスよく含んでいます。また脳の動きを活性化させるDHA(ドコサヘキサエン酸)や血液をサラサラにするEPA(エイコサペンタエン酸)という脂肪酸が多いです。また、からだの中で作ることのできない必須アミノ酸(イソロイシン、ロイシン、リジン)、甘味として感じられる遊離アミノ酸のアラニンや、旨味成分となるグルタミン酸も豊富に含まれています。



3.

リハビリテーション部 からのお知らせ

運動習慣で

健康寿命を

延ばそう!

少し息が早くなる程度、人と楽に会話ができる程度、やや汗ばみ爽快感を味わえる程度の運動を有酸素運動といいます。
有酸素運動は、体力や筋力をつけてくれるだけでなく、血糖を下げる、脂肪を減らす、血行が良くなる、ストレス解消などの効果があり、生活習慣病予防には効果的な運動です。
“有酸素運動のウォーキング”についてのご紹介をします。
体調に合わせて、10～30分を、1日2回ぐらい歩きましょう。
無理せず、途中で休憩を入れても構いませんので、ご自身のペース行ってください。



9階病棟に

笑顔の“花”が咲きました!



HITO-IRO PROJECT(ひといろプロジェクト)さまのお力を借りて、9階病棟の談話室の窓がカラフルに彩られました!患者さん、看護師、作業療法士がともに手を動かし、花・四つ葉・星が描かれた紙に色を塗っていきました。普段なら座るのを嫌がる患者さんも30分以上集中して没頭していたり、普段とは違ったお話をされたりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。「病気から気持ちが離れて楽しめた」「楽しくリハビリができた」と、患者さんからもうれしいお声をいただき、とても貴重な時間となりました。

ご協力:HITO-IRO PROJECT(ひといろプロジェクト) 大阪市芸術活動振興事業助成

患者相談窓口のご案内

受付場所	2階エスカレーター右横
受付時間	月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～13:00
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー(MSW) ※その他、内容に応じて専門のスタッフが対応します。
相談内容	
医療の相談	治療や検査、薬について/病気の症状や後遺症、副作用について
生活・福祉の相談	医療費について/在宅介護について/福祉制度について

患者総合支援センター

06-6531-0819

FAX:06-6531-5396

紹介患者受け入れ窓口

地域の医療機関から依頼を受けて、院内の各診療科へ連絡・調整を行います。スムーズな診療を実現します。

医療・介護・福祉の相談窓口

医療ソーシャルワーカー(MSW)及び専任の看護師が医療・介護・福祉に関するご相談をお受けいたします。

上記以外にも受け付けております。一人で悩まずご相談ください。